

## 協和国际交流協会 (代表 高橋 和男)

実施日	平成19年11月18日(日)	時間	午前10時30分～午後2時
実施場所	協和の杜公園 多目的研修センター	対象/人数	小学5年生以上の一般会員70名
担当者	中島 直子	ファシリテーター	-
講師	ジョナサン・マイケルズ (アメリカ・県国際交流員) アンバー・チャン (オーストラリア・県国際交流員)		

### 活動内容

#### <大人グループ>

- ・アメリカ カリフォルニアの歴史、自然、食文化について講話
- ・オーストラリアの文化、歴史、原住民の生活についての講話

#### <子どもグループ>

- ・オーストラリアの自然、動物についての講話
- ・英語を使っのゲーム

昼食時に、参加者による日本文化の紹介

### 参加者の感想・代表者の感想

・今回は 大人グループと子供グループに分かれて、グループごとに内容も分けて同時進行という形になった。午前の部は、大人グループはアメリカのカリフォルニアを中心に歴史や自然について、また食文化についてなどの講話を頂きました。日本でもよく知られているカリフォルニア巻きの写真はとても美味しそうでした。子供グループはオーストラリアの自然や動物たちについて、ぬいぐるみなどを使い楽しく説明していただきました。またパズルを組み合わせるとオーストラリアの地図が出来上がるゲームや国旗の説明をしていただいたり、プラスチック製の紙幣を見せていただいたり、日本とのいろいろな違いに、子供たちは驚いていました。たぶん一番驚いたのは、水不足がレベル5になった現在、オーストラリアではシャワーの時間制限があり、政府から配られた4分間砂時計を見せていただいたときかもしれません。

昼食は、講師の方を囲んで、カレーライスを食べながら、参加者による日本文化の紹介などを行いました。女子高生による英語のスピーチでは、レオクラブでのボランティア活動についてなど紹介していただきました。そして今年もレオクラブの皆さんによるソーラン節の踊りは元気いっぱいでした。

午後の部では、大人グループはオーストラリアの文化や歴史について講話を頂きました。原住民であるアボリジニの生活についてや、カンガルーの語源はアボリジニ語で「何いってるの」という意味であることなど興味深いお話でした。アンバ

ーさんの出身地であるブリスベンの写真を見せていただきましたが、とても美しいところでした。またアンバーさんはとても美しい声で、オーストラリアの国歌を歌って下さいました。

子供グループは、ジョナサンの出身地であるカリフォルニアが日本と同じ大きさでアメリカ全土では日本の23倍と聞いて驚いていました。家族の写真を見せていただいたとき、「おばあちゃん」は英語でなんと言いますか、という質問に、Grand mother「はい、そうです。でも違います。うちのおばあちゃんはドイツから来たので、「オミ」とドイツ語で呼びます」と教えていただきました。多民族国家であることを実感しました。また、見えないボールを渡していくというゲームでは、英語を使いながら、たのしみました。

### 成果と課題

・来年度から小学校英語が必修化となりますが、私たちの活動が、少しでも多くの子供たちに、世界の文化や言語を紹介し国際理解に役立てられたらと思います。今回は「英語で遊ぼう」というテーマで、子供たちには英語の歌やゲームに親んでもらいました。子供たちは二人の講師の方と最後まで楽しそうにおしゃべりをしていました。大人と子供を二つのグループに分けていただいたのがとてもよかったと思います。参加者全員が有意義な時間であったことを望んでいます。

